

Palnote 連絡用紙

商品に関することやご意見・ご要望などをこの用紙でお寄せください！
(太枠内のご記入をお願いします)

所属センター		組員番号 ※必須(番号の記入間違いにご注意ください)					
<input type="checkbox"/> 柏 <input type="checkbox"/> 印西 <input type="checkbox"/> 松戸 <input type="checkbox"/> 習志野 <input type="checkbox"/> 千葉 <input type="checkbox"/> 東金 <input type="checkbox"/> 野田 <input type="checkbox"/> 稲毛(キューブ館山含む)							
コース	用紙提出日	年	月	日	回答	要	不要
記入欄							
 こちらからもお問い合わせできます							
商品についてのご連絡は、以下もご記入ください。				(パルシステム記入欄)			
配達日 カタログ企画回	年 月 日 (月 回)						
商品名 青果は産地名も							
商品分類	青果 / 冷蔵 / 冷凍 / 常温 / 雑貨 / その他()			受付	リーダー/担当者	電算	責任者
注文番号	単価(税込)	数量					

キトリ ✂

Pal Green Farm 通信

パルシステム千葉、初の直営農場
若い生産者が試行錯誤の毎日です。

2026年5月号
(文：椎名農場長)

◆ハウスに棲みついたカエルから思う、生態系の神秘◆

今年はハウスでカエルをよく見かけます。こぶし大ほどのくすんだ黒色が突然飛び出てきてすぐにまた身を隠す。まるで忍者みたいです。カエルは何を食べているのか？ コオロギ・バッタ・ハエ・ミミズ・ガ・クモ…。どうやら作物は食べないようで、むしろ虫退治にひと役買ってくれる頼もしい助っ人のようです。設立当時は大きなカエルがたくさんいて、アマガエ 育苗棟に棲みついたカエル程度しか知らなかった私には衝撃でした。それがここしばらく見かけなくなって、これは農業を通じて生態系に影響が出てしまったのかと内心、不安でした。でもまた最近たくさんのカエルを確認することができてひと安心です。パルグリーンファームではキジ・ハクビシン・タヌキ・アライグマといった動物もよく見かけます。カエルがいるのでヘビも来ます。多様な生き物がいるということは植物が育ち、植物を食べる虫がいて、その虫を食べにくる小動物がいて、さらにその小動物を食べにくる動物がいて…。そして虫や動物が生きる中でふん尿をして食べた物が土に還り、微生物の働きで肥料となって植物が育っていきます。植物も虫も動物も、どこかが欠けると生きられないものが出てしまう。こうしたサイクルが、ここでは見えやすいような気がします。そんな想像を巡らせながら、皆さん、パルグリーンファームへ遊びに来てください！



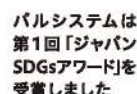
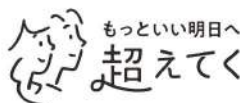
育苗棟に棲みついたカエル



じゃがいもの花

【今後の供給予定(テープの色)】小松菜(緑)、チンゲンサイ(赤)、みず菜(黄)、ルッコラ(黒)、じゃがいも

PGF 通信バックナンバーやレシピ、お問い合わせはこちら ▶



パルノート
Palnote

生活協同組合パルシステム千葉 <https://www.palsystem-chiba.coop>

2026年
6月2回
2026.5.25発行
vol.219

介護中の主人と
近所を往復

日本ミツバチが木に巣作りして出たり入ったり。穴の辺りに2~3匹出ているときはうれしくなります。一度大きなハチに襲われましたが、群れになって侵入を阻止！拍手を送りました。私はその道を「ミツバチの小道」と呼んでいます。(O.N.さん/柏市)

駅までのいつもの道で

妊娠中はお腹をさすりながらゆっくりと。抱っこひもで初めて歩いた日には「妊娠中のお腹のほうが重かったなあ」なんて。そして初めてベビーカーで通った日。小さな段差や傾きに気づき、ただ通り過ぎていた空の色や道ばたの花も、ちゃんと目に入るようになりました。わが子と手をつないで歩く日を楽しみに、今日も駅へ向かいます。(S.C.さん/船橋市)

散歩というより探検

子どもと近所を散歩するときは目的地を決めません。分かれ道にあつたらその都度進む道を決め、どこに出るのか楽しんでいきます。(ベベロンさん/流山市)



イラスト 広報サポーター KUONさん

みんなの
おしゃべりCafe

minna no osyaberi cafe

今号のテーマ 散策・街ブラ

もっぱらディスカバーご近所

ニュータウンと呼ばれる地域に住んでいますが、ちょっと歩くと小川が流れ牧歌的な農村風景が現れます。古い道標や馬頭観音を見つけて、ニュータウンができる前の地域の様子を想像しながらの散策がお気に入りです。



イラスト (こづめさん/白井市)
広報サポーター たぬぼんぼんぼんさん

文庫本を持って

近所の大きな公園で散歩の休憩がてら読書します。家では部屋の散らかりや家事の段取りが気になって集中できません。風や周りの風景に癒され、体も動かしつつ読書もはかどり最高のリフレッシュです。(レジさん/松戸市)

家族でたまに夜のお散歩

目的地は決めずただぶらぶらおしゃべりしながら歩きます。夜の町並みは屋間とは別の風景に見えてとても新鮮。その日は月がいつもよりひと回り大きくオレンジ色に光っていて恐ろしく、でも美しく。大人なのに子どもといっしょになって、声を抑えながら大喜びしてしまいました。(あるくさん/船橋市)

待ち合わせは銀座♪

シニアになり収入減なのに、友人との待ち合わせは学生時代からずっと銀座。そこでお店に入るのをやめ「銀ブラ」でおしゃべりするようになりました。(あみの母さん/浦安市)

予告 次回のテーマ

防災対策プラスワン

防災・減災は日ごろの備えから。あとひとつ加えるとしたら何をしますか？ 防災グッズ・家族の決めごと・避難場所の情報など何でもOKです。

※次週『Palnote』6月3回号にて募集します。クイズ&プレゼントもお楽しみに！

掲載者には
300
ポイント
プレゼント!